

平成15年度総会

日時 :平成15年5月10日(土)
会場 北海道厚生年金会館 「瑞雪の間」



社団法人

日本超音波医学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1
クロセビア本郷3F

U R L :<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsum/>

T E L :03-3813-5540

F A X :03-3816-7644

E-Mail jin-jsum@catnet.ne.jp

平成15年度総会次第

日時：平成15年5月10日(土) 12時00分～13時00分

会場：北海道厚生年金会館 「瑞雪の間」

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1.平成14年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2.平成14年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3.平成14年度収支決算監査報告	(資料3)	監事
4.平成15年度事業計画(案)	(資料4)	庶務担当理事
5.平成15年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6.会員の除名	(資料6)	理事長
7.功労会員推薦	(資料7)	理事長
8.その他		理事長
議事録署名人の選出		議長
閉会		議長
功労会員の表彰		理事長
第5回特別学会賞表彰		理事長
第2回松尾賞表彰		理事長
第3回技術賞表彰		理事長
第17回菊池賞(論文賞)表彰		理事長
第4回奨励賞表彰		理事長
永年勤続表彰		理事長

(資料1)

平成14年度事業報告

(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)

会員現況

(平成15年3月31日現在)

会員種別	平成14年3月31日 現在数	平成15年3月31日 現在数	増	減	備 考
名誉会員	15	15	+	0	
功労会員	28	28	+	0	
正 会 員	8,835	8,681	-	154	
準 会 員	4,635	4,764	+	129	
学生会員	13	16	+	3	
賛助会員	30(88口)	27(82口)	-	3	
計	13,556	13,531	-	25	

名誉会員(*物故者)

*青柳 健次郎 *加藤 金子 *金 正 郎 *菊池 喜 充 *田中 憲 二 *吉 田 常 雄 *吉岡 勝 哉
*永山 徳次郎 *岡 藤 子 *仁 益 尚 *実 吉 純 一 *林 有 賀 *三 弘 松 *古 和 賀 *井 敏 夫 *海老名 敏 明
*板原 克泰 *奥 山 大 太 郎 *中 島 守 道 *安 藤 遷 *松 井 正 裕 *尾 田 經 雄
*仁 村 島 基 治 良 竹 原 靖 明 福 田 守 道 渡 邊 松 尾 裕 英 平 田 經 雄
(以上30名)

学会誌

1. 平成14年度は、「超音波医学」(和文誌)第29巻Supplement号、第29巻3号から6号と第30巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第29巻Summer号・Autumn号・Winter号と第30巻Spring号まで4冊、計11冊を発行した。内容は以下のとおり

巻号	29-Suppl	29-3	29-4	29-5	29-6	30-1	30-2	29-Sum	29-Aut	29-Win	30-Spr	
本文ページ数	566	124	78	91	84	165	128	43	69	85	66	
主	原著 (Original Research Article)	0 (0)	14 (2)	16 (2)	8 (1)	12 (1)	6 (1)	24 (3)	6 (1)	34 (5)	22 (3)	36 (4)
	症例報告 (Case Report)	0 (0)	16 (2)	16 (2)	20 (3)	12 (2)	14 (2)	18 (3)	8 (1)	12 (1)	4 (1)	16 (2)
な	翻訳 (Original Research Article)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	18 (2)	20 (2)	8 (2)
	翻訳 (Case Report)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
論	技術報告 (Technical Note)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	総説	0 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	20 (7)	0 (0)	0 (0)	34 (2)	0 (0)
文	Letters to the Editor	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Editorial	0	2	2	4	2	2	3	2	2	2	
ペ	Education	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	
	学会集會プログラム	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
I	学会集會抄録	440	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会告	0	2	6	11	15	47	14	0	0	0	
ジ	研究会報告	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	
	地方会抄録	0	42	18	0	22	66	24	0	0	0	
数	学会ニュース	0	2	2	2	2	2	2	0	0	0	
	その他	18	40	18	27	11	68	23	3	3	3	

()内は掲載論文等の数

.特別学会賞

第4回特別学会賞は、次の2名に授与された。

岡 益 尚(大阪厚生年金病院)
前 田 一 雄(老人保健施設あけぼの)

.松尾賞

第1回松尾賞は、次の2名に授与された。

別府慎太郎(大阪大学)
椎 名 毅(筑波大学)

.技術賞

第2回技術賞は、次の2件に授与された。

Pulsatile Flow Detection
鈴木陽一 地晩隆夫 片岡宏章
Fusion 3D
山形 仁 江馬武博 田中裕子 橋本新一 神田良一

.菊池賞(論文賞)

第16回菊池賞(論文賞)は、次の5編に授与された。

- 基礎領域
高フレームレートカラードプラ法のための選別された位相情報を用いるドプラ周波数推定法28(1)
田中直彦 大槻茂雄
- 循環器領域
新しい広域帯15MHzリニア電子走査型探触子による筋性中動脈計測精度の検討28(2)
山田 聡 三神大世 西原馨子 三竹 毅 泉 美喜雄 吉田尚浩 花岡明彦 呉 迪
小室 薫 小野塚久夫 藤井 聡 北畠 顕
Age-Related Changes in Diastolic Atrioventricular Annular Velocity: Studies Using Pulsed
Doppler Tissue Imaging28(Autumn)
Nobuo FUKUDA Hisanori SHINOHARA Takeshi SOEKI Koichi SAKABE Yukiko ONOSE Yoshiyuki TAMURA
- 腹部領域
肝の超音波組織性状診断に関する研究
- ラット繊維化肝におけるROIの分割化によるRF信号の包絡振幅のヒストグラム解析 -28(4)
藤井康友 谷口信行 高野隆一 王 怡 重田浩一朗 尾本きよか 小野倫子 佐藤 泉
伊東 紘一
Post-tumoral Distorted Vascular Images: Diagnostic Problem of Sonogram28(Autumn)
Atsushi UNO Hideaki ISHIDA Kei KONNO Yuki HAMASHIMA Hiroko NAGANUMA Tomoya KOMATSUDA
Michiko SATO Sumio WATANABE

.奨励賞

第3回奨励賞は、次の6編に授与された。

超音波照射下での微少気泡のふるまいと細胞への作用の高速度撮影
工藤信樹
画像加算平均法による負荷心筋コントラスト法での虚血心筋の検出
赤土正洋
リアルタイム3次元超音波ガイドによる拍動下心内修復術の試み
末松義弘
3D CINEを用いた胎児体表奇形の診断
妹尾大作
肝細胞癌に対する造影超音波ガイド下経皮的治療
沼田和司
動脈壁の局所弾性率の計測による組織性状診断の検討
長谷川英之

学術集会

第75回学術集会(会長 千田彰一)は、平成14年6月1日(土)、2日(日)、3日(月)の3日間、香川県民ホール、及び全日空ホテルクレメント高松(香川県)を会場として開催した。参加人員1,971名、発表内容は下記のとおり。

第75回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 10題 一般演題 270題(基礎 37、循環器57、消化器105、産婦人科15、泌尿器21、体表 14、頭頸部12、血管 9) ポスター 72題(基礎 12、循環器11、消化器20、産婦人科 7、泌尿器 7、体表 10、頭頸部 2、血管 3) 合計 352題
40周年記念講演	1)超音波の治療技術の曙 2)超音波の安全性をたずねて
招請講演	1)US-guidedpercutaneousablation therapy for hepatocellular carcinoma 2)3D ultrasonic diagnosis of fetal anomalies 3)Physics of microbubblebehaviour 4)Endoscopic ultrasonographyofthethirdMillennium 5)Assessingcardiacfunction in clinical practice
シンポジウム	1)New TechnologicalTrend 2)超音波の進歩が肝癌の診断体系にどのような変化をもたらしたか(消化器) 3)血管超音波の現況：此処までわかる(血管) 4)産科領域における三次元超音波診断 -いま何がどこまで判るか？-(産婦人科) 5)冠動脈を診る(循環器) 6)二次元副甲状腺機能亢進症の治療戦略 -Interventional Ultrasonography(IVUS)-(体表) 7)コントラストエコー法の展望 8)超音波診断とマルチメディア技術(基礎) 9)心機能評価(循環器) 10)尿路結石治療に超音波は本当に必要か？(泌尿器) 11)弁逆流は心エコーでここまで評価できる!?(循環器) 12)組織性状診断はどこまで可能か -理論と実際-(基礎)
教育セッション	1)Fundamental 2)Primary 3)Up-Date in practice 1 4)Up-Date in practice 2
その他	モーニングセミナー 検査技術セッション 特許啓発講演 新技術開発セッション ランチョンセミナー イブニングセミナー
機器展示	26社

地方会学術集会

1. 下記の地方会学術集会が開催された。

a. 北海道地方会学術集会

- 第23回 会長 島本和明
 平成14年10月5日 於：タケダ札幌ビル(札幌市) 参加者：182名 演題数：29題
 第24回 会長 須賀俊博
 平成15年1月18日 於：教育文化会館(札幌市) 参加者：180名 演題数：24題

b. 東北地方会学術集会

- 第24回 会長 金谷透
 平成14年9月21日 於：山形テルサ(山形市) 参加者：173名 演題数：25題
 第25回 会長 棚橋善克
 平成15年3月9日 於：東北大学医学部長陵会館(仙台市) 参加者：227名 演題数：23題

c. 関東甲信越地方会学術集会

- 第14回 会長 平井寛則
 平成14年10月14日～15日 於：新高輪プリンスホテル(港区) 参加者：1,091名 演題数：104題

d. 中部地方会学術集会

- 第18回 会長 岩瀬正嗣
 平成14年11月10日 於：名古屋国際会議場(名古屋市) 参加者：376名 演題数：51題

e. 関西地方会学術集会

- 第24回 会長 平井都始子
 平成14年8月31日 於：奈良県新公会堂(奈良市) 参加者：853名 演題数：99題
 第25回 会長 本田伸行
 平成15年2月8日 於：大阪国際交流会館(大阪市) 参加者：1,006名 演題数：101題

f. 中国地方会学術集会

- 第38回 会長 内藤克輔
 平成14年9月21日 於：山口グランドホテル(吉敷郡) 参加者：155名 演題数：26題

g. 四国地方会学術集会

- 第12回 会長 井内新
 平成14年10月5日 於：長井記念ホール(徳島市) 参加者：153名 演題数：32題

h. 九州地方会学術集会

- 第12回 会長 金光敬一郎
 平成14年9月1日 於：熊本市市民会館・熊本市国際交流会館(熊本市) 参加者：537名 演題数：51題

規約等の制定・改正等

1. 制定

- (1) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波工学フェロー資格認定審査内規(平成14年9月20日制定)
- (2) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波工学フェロー資格更新実施内規(平成14年9月20日制定)
- (3) 社団法人日本超音波医学会 役員の報酬・退職金に関する規程(平成14年12月20日制定)
- (4) 社団法人日本超音波医学会 会誌発行要領(平成14年9月20日理事会承認)
- (5) 社団法人日本超音波医学会 研究会設置要領(平成15年2月14日理事会承認)

2. 改正

- (1) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波検査士制度規則(平成14年4月27日改正)
- (2) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波検査士認定試験施行規程(平成14年4月27日改正)
- (3) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波専門医資格更新実施内規(平成14年6月3日改正)
- (4) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波検査士資格更新実施内規(平成14年6月3日改正)
- (5) 社団法人日本超音波医学会 編集委員会規程(平成14年7月19日改正)
- (6) 社団法人日本超音波医学会 会員の種別、入退会、会費等の取扱い規則(平成14年9月20日改正)
- (7) 社団法人日本超音波医学会 会員資格審査規則(平成14年9月20日改正)
- (8) 社団法人日本超音波医学会 正会員の医学関係者、理工学関係者及びその他関係者の専攻の認定及び名簿への記載に関する申合せ(平成14年9月20日理事会改正)
- (9) 社団法人日本超音波医学会 奨学制度(JSUM Fellowship)実施要領(平成14年9月20日理事会改正)
- (10) 社団法人日本超音波医学会 会費規則(平成14年9月20日改正)
- (11) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波指導医の委嘱に関する内規(平成14年12月20日改正)
- (12) 社団法人日本超音波医学会認定 超音波指導医の推薦に関する申合せ(平成14年12月20日理事会改正)

3. 廃止

- (1) JMedUltrasonics 超音波医学投稿要領(平成14年9月20日理事会廃止)

各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 菅原基晃)

- a. 本学会創設40周年記念事業として、第75回学術集會会期中の第2日目(6月2日)に名誉会員、及び功労会員による学術講演会を実施した。

2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤信行)

- a. 「超音波機器等の安全に関するワーキンググループ」を設置し、超音波ならびにマイクロバブルの安全性に関する調査、啓蒙活動を行った。
- b. 超音波診断機器用プローブの表面温度に関し、その安全性について検討した。
- c. その他、超音波機器の安全性に関する調査、啓蒙活動を行った。

3. 編集委員会(委員長 名取博)

- a. 「超音波医学」(和文誌)第29巻Supplement号、第29巻3号から6号と第30巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第29巻Summer号・Autumn号・Winter号と第30巻Spring号まで4冊、計11冊を発行した。
(項参照)

4. 用語・診断基準委員会(委員長 岡井崇)

- a. 医用超音波用語集の改訂(案)を各領域に渡り検討した。
- b. 超音波診断基準の作成及び公示
1) 「胆嚢癌の超音波診断基準」を学会誌に公示した。(超音波医学第29巻3号掲載)
2) 「縦隔腫瘍のエコーパターン分類」を学会誌に公示した。(超音波医学第29巻3号掲載)
3) 「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン2002-腫瘍像形成性病変について-」(案)を作成し、学会誌への公示に向けての検討を行った。

5. 保険委員会(委員長 岡井崇)

- a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定及び新規適用項目を取りまとめ、要望書を提出した。

6. 国際交流委員会(委員長 工藤正俊)

- a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
1) 2002年度超音波医学会Fellowship研修生を公募し、選考を行い、3名の研修を実施した。
2) 今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
- b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係
1) 2003年にモントリオール(6月1日～6日)にて開催される第10回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。

7. 教育委員会(委員長 北島 顕)

- a. 超音波医学の卒後教育充実のための新しい企画として、第75回学術集會から「教育セッション」を開始した。
- b. 第76回学術集會における「教育セッション」の内容を検討し、学術集會会長に提案した。
- c. 超音波専門医が到達すべき知識や技術を具体的に示す「超音波専門医研修カリキュラム」の原案を作成した。

8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田彰一)

- a. 平成14年度に認定した研修施設(新規22施設、更新176施設)に対し、平成14年4月1日付で認定証を交付し、併せて学会誌に公示した。(超音波医学第29巻2号)
- b. 第12回超音波専門医認定試験を実施し、合格者64名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成14年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第29巻5号)
- c. 第8回超音波専門医資格更新を実施し、更新者175名、猶予・保留者18名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成14年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第29巻5号)
- d. 平成14年度超音波指導医の認定審査を行い、新規19名、及び更新50名の委嘱を行い、学会誌に公示し、併せて平成14年12月1日付で超音波指導医認定証を交付した。(超音波医学第30巻1号)
- e. 第13回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第30巻1号)
- f. 平成14年12月1日現在での超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第30巻1号)
- g. 第9回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第30巻2号)
- h. 平成15年度超音波研修施設の指定に向けての審査を行い、新規19施設、更新7施設を指定して、平成15年4月1日付で超音波研修施設認定証を交付し、併せて学会誌に公示する予定である。(超音波医学第30巻2号)
- i. 超音波専門医制度の普及・充実を図った。
1) 超音波専門医受験資格保有者宛に超音波専門医認定試験受験勧奨を行った。
2) 「専門医取得のための超音波医学研修手帳」の頒布拡大の広報活動を行った。
3) 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第3版第2刷)を発行した。
また、同問題集新訂版第4版発行に向けて、編集委員会を組織し、発行準備を行っている。

- 4) 超音波指導医の後進育成促進を啓蒙した。
- j. 「超音波専門医研修カリキュラム」について、教育委員会と合同で検討を行い、卒後超音波医学研修ガイドライン策定小委員会に、委員を派遣した。
- k. 専門医認定制協議会、第1回、第2回、及び第3回評議員会に出席した。
- l. 平成14年4月1日付厚生労働大臣告示「専門医の広告」に、本学会として対応すべく、専認協の動向を勘案しつつ準備を進めることとし、併せて超音波専門医制度のより良い在り方についての検討を行った。
9. 顕彰委員会(委員長 菅原 基 晃)
- 第16回菊地賞(論文賞)の選考を行い、5編を授賞した。
 - 第4回特別学会賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - 第3回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
 - 第2回技術賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - 第1回松尾賞の選考を行い、2名を授賞した。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 里見 元 義)
- 第18回超音波検査士認定試験を実施し、合格者1,055名に対して検査士の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成15年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第30巻2号)
 - 2003年超音波検査士資格更新を実施し、更新者569名、猶予・保留者22名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成15年4月1日付で超音波検査士認定証、及び超音波検査士カードを交付した。(超音波医学第30巻3号)
 - 超音波医学研修ガイドライン2002年版を発行した。
 - 超音波検査士認定試験問題集の改訂版を発行した。
 - 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - 超音波検査士資格更新における関連学会・研究会等の認定基準を作成した。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 金井 浩)
- 第4回超音波工学フェローの認定審査を行い、3名に対して工学フェローを認定し、学会誌に公示した。(超音波医学第29巻4号)
また、併せて希望者には平成14年7月1日付で超音波工学フェロー認定証を交付した。
 - 第5回超音波工学フェローの公募実施に関する会告を公示した。(超音波医学第29巻6号)
 - 超音波工学フェロー資格更新に関する検討を行い、規則等の整備を行った。
12. 研究開発促進委員会(委員長 棚橋 善 克)
- 第2回研究開発班設置申請14件の審査を行い、6件(継続2件・新規4件)の開発班の設置を認可した。
 - 第75回学術集會会期中に「新技術開発セッション」を実施した。
また、「特許相談コーナー」を設け、法律事務所の弁護士が対応した。
 - 2研究会が以下の通り活動を行った。
 - 1) 基礎技術研究会
代表者：秋山いわき
第1回 / 平成14年6月28日 於：東京工業大学大岡山キャンパス(東京都) 参加者：48名 発表件数：7件
電子情報通信学会超音波研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第2回 / 平成14年9月21日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：36名 発表件数：7件
第1回超音波治療技術研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第3回 / 平成14年10月25日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：22名 発表件数：5件
電子情報通信学会超音波研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第4回 / 平成14年12月21日 於：福岡大学キャンパス(福岡県) 参加者：57名 発表件数：16件
日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
 - 2) 超音波治療技術研究会
代表者：山下 裕一
第1回 / 平成14年9月21日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：27名 発表件数：7件
第2回基礎技術研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第2回 / 平成14年12月7日 於：昭和大学藤が丘病院(神奈川県) 参加者：22名 発表件数：4件
第3回 / 平成15年3月28日 於：福岡大学医学部情報センター(福岡県) 参加者：23名 発表件数：1件
 - 第3回(平成15年度)研究開発班設置申請に関する会告を公示し(超音波医学第29巻5号)、応募書類を審査した。
 - 日本超音波医学会研究会に係る応募要項を作成した。
13. 平成16・17年度選挙管理委員会(委員長 椎名 毅)
- 平成16・17年度選挙管理委員会を設置した。
14. 会員資格審査関係(担当理事(主) 別府慎太郎)
- 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
 - 会員規約の改正について、「会員資格問題検討小委員会」を設置し、検討を行った。
15. 学術集會関係(担当理事(主) 跡見 裕)
- 第78回学術集會会長候補者について、役員及び評議員宛に推薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。
 - 「学術集會会長間の申し送り事項」の整備を行った。
16. 地方会関係(担当理事(主) 松崎 益 徳)
- 各地方会運営委員長会議を開催した。
 - 地方会講習会に關しての指導、及び助言を行った。
 - 地方会学術集會「会計に關する取扱い要領」の改正を行った。
 - 地方会学術集會大会長用の「会計に關する取扱いマニュアル」を作成した。
 - 地方会交付金を算定し、交付した。
17. 規約関係(担当理事(主) 千田 彰一)
- 本会規約等の制定、及び改正を行った。(項参照)
18. インターネット関係(担当理事(主) 椎名 毅)
- 英語版のホームページの充実に努めた。
 - 学術集會、地方会、及び各種委員会等の広報の充実に努めた。
 - 会員の便宜を図る取り組みとして、ホームページでの住所変更、有益情報提供としてのバナー広告の導入を実施した。

.日本医学会関係(担当理事 跡見 裕)

1. 第70回日本医学会定例評議員会に参加した。
2. 日本医学会シンポジウムに協力した。

.日本学術会議関係(担当理事 跡見 裕)

1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加した。
2. 第19期学術研究団体の登録申請を行った。
3. 日本学術会議の在り方に関する説明会に参加した。

平成14年度収支計算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科	目	予算額	決算額	差額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	100,000	18,500	81,500
会費収入		159,784,000	157,641,000	2,143,000
	正会員会費	(110,851,000)	(106,995,000)	(3,856,000)
	準会員会費	(45,190,000)	(47,073,500)	(1,883,500)
	学生会員会費	(63,000)	(52,500)	(10,500)
	賛助会員会費	(3,680,000)	(3,520,000)	(160,000)
入会金収入		1,206,000	1,072,500	133,500
広告収入	学会誌	4,440,000	3,610,000	830,000
学術集会収入		71,400,000	72,602,971	1,202,971
	参加費収入	(27,300,000)	(38,960,971)	(11,660,971)
	展示収入	(44,100,000)	(33,642,000)	(10,458,000)
地方会関係収入	地方会学術集会収入ほか	34,200,000	35,000,516	800,516
学会誌別刷収入		900,000	1,157,000	257,000
WFUMB会誌収入		2,100,000	1,780,000	320,000
専門医制度関係収入		4,680,000	5,924,000	1,244,000
	認定試験	(2,160,000)	(2,840,000)	(680,000)
	更新認定料	(1,860,000)	(1,824,000)	(36,000)
	資料頒布料	(660,000)	(1,260,000)	(600,000)
検査士制度関係収入		27,550,000	32,963,000	5,413,000
	認定試験	(24,450,000)	(29,955,000)	(5,505,000)
	更新認定料	(2,900,000)	(2,948,000)	(48,000)
	資料頒布料	(200,000)	(60,000)	(140,000)
雑収入		2,300,000	1,647,680	652,320
受取利息		500,000	95,667	404,333
特定預金取崩収入		1,000,000	1,000,000	0
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
当期収入合計(A)		310,160,000	314,512,834	4,352,834
前期繰越収支差額		0	67,961,004	67,961,004
収入合計(B)		310,160,000	382,473,838	72,313,838

支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	60,370,000	67,571,950	7,201,950
	出版費	(33,370,000)	(36,368,903)	(2,998,903)
	発送経費	(19,100,000)	(25,011,612)	(5,911,612)
	編集委員会費	(1,800,000)	(1,919,494)	(119,494)
	英文校正費	(4,500,000)	(3,719,441)	(780,559)
	査読通信費	(1,600,000)	(552,500)	(1,047,500)
	国際交流関係費	7,210,000	6,783,165	426,835
	委員会費	(300,000)	(9,240)	(290,760)
	奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
	AFSUMB分担金	(3,310,000)	(3,173,925)	(136,075)
	WFUMB機関誌代	2,870,000	3,009,492	139,492
	学術集会関係費	72,180,000	73,851,838	1,671,838
	学術集会経費	(72,120,000)	(73,819,518)	(1,699,518)
	学術集会委員会費	(60,000)	(32,320)	(27,680)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等費	3,800,000	3,869,347	69,347
	地方会関係費	48,000,000	46,806,416	1,193,584
	地方会学術集会経費	(34,200,000)	(31,001,087)	(3,198,913)
	地方会交付金	(13,450,000)	(15,470,400)	(2,020,400)
	運営委員長会議費	(350,000)	(334,929)	(15,071)
	研究開発促進委員会費	15,200,000	14,625,998	574,002
	研究班設置費	(12,500,000)	(12,000,000)	(500,000)
	研究開発促進委員会費	(1,600,000)	(1,605,110)	(5,110)
	研究会関係費	(1,100,000)	(1,020,888)	(79,112)
	専門医制度委員会費	4,310,000	6,117,955	1,807,955
	専門医認定関係費	(2,780,000)	(2,587,836)	(192,164)
	専門医制度委員会費	(1,530,000)	(2,658,619)	(1,128,619)
	頒布資料印刷費	(0)	(871,500)	(871,500)
	検査士制度委員会費	16,600,000	12,820,800	3,779,200
	検査士認定関係費	(14,200,000)	(10,627,116)	(3,572,884)
	検査士制度委員会費	(2,250,000)	(2,120,709)	(129,291)
	頒布資料印刷費	(150,000)	(72,975)	(77,025)
	教育委員会費	1,560,000	1,848,396	288,396
	教育委員会費	(810,000)	(1,031,916)	(221,916)
	生涯教育費	(750,000)	(816,480)	(66,480)
	顕彰委員会関係費	7,200,000	5,960,661	1,239,339
事業費計		241,300,000	245,266,018	3,966,018
事務費	人件費	36,000,000	35,953,247	46,753
	会計顧問料	500,000	500,000	0
	福利厚生費	710,000	659,205	50,795
	法定福利費	3,800,000	4,166,165	366,165
	職員交通費	1,490,000	1,604,770	114,770
	事務所賃借料	8,140,000	8,132,652	7,348
	事務用機器賃借料	630,000	713,580	83,580
	備品費	500,000	285,388	214,612
	文具消耗品費	700,000	842,622	142,622
	光熱水料	750,000	615,697	134,303
	事務OA化費	1,000,000	560,280	439,720
	会議費	3,300,000	4,162,627	862,627
	印刷費	1,640,000	1,840,799	200,799
	通信費	3,750,000	2,668,680	1,081,320
	公租公課	1,300,000	1,431,700	131,700
	雑費	700,000	463,137	236,863
	払込手数料	1,300,000	658,535	641,465
	選挙関係費	50,000	38,280	11,720
事務費計		66,260,000	65,297,364	962,636
特定預金支出	退職給与引当預金支出	1,100,000	1,100,000	0
	選挙関係積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予 備 費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		310,160,000	312,663,382	2,503,382
当期収支差額(A)-(C)		0	1,849,452	1,849,452
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	69,810,456	69,810,456

正味財産増減計算書
平成14年4月1日から平成15年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	1,849,452		
選挙関係積立預金増加額	1,000,000		
退職給与引当預金増加額	1,100,000		
		3,949,452	
2 負債減少額			
		0	
増加額合計			3,949,452
減少の部			
1 資産減少額			
松尾賞積立預金取崩額	1,000,000		
		1,000,000	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	2,080,860		
		2,080,860	
減少額合計			3,080,860
当期正味財産増加額			868,592
前期繰越正味財産額			371,776,314
期末正味財産額合計			372,644,906

貸 借 対 照 表
平成15年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金預金	55,998,072	
郵便振替	10,500,351	
前払金	2,508,300	
仮払金	5,000,000	
未収入金	723,500	
流動資産合計		74,730,223
2 固定資産		
1)基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
基本財産合計	36,000,000	
2)その他の固定資産		
退職給与引当預金	7,386,010	
減価償却引当預金	2,500,000	
国際交流積立預金	4,500,000	
名簿刊行積立預金	10,000,000	
選挙関係費積立預金	2,000,000	
事務所整備積立預金	84,000,000	
学術奨励積立預金	115,500,000	
松尾賞積立預金	9,000,000	
研究開発班設置基金預金	26,000,000	
電話加入権	192,800	
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500	
その他の固定資産合計	277,463,310	
固定資産合計		313,463,310
資 産 合 計		388,193,533
負債の部		
1 流動負債		
前受金	1,406,500	
仮受金	1,954,500	
未払金	1,362,700	
預り金	196,067	
流動負債合計		4,919,767
2 固定負債		
退職給与引当金	10,628,860	
固定負債合計		10,628,860
負 債 合 計		15,548,627
正味財産の部		
正味財産		372,644,906
(うち基本金)		(36,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(868,592)
負債及び正味財産合計		388,193,533

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
 - (2) 退職給与引当金の計上基準
職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。
 - (3) 資金の範囲
資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。
 - (4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。
2. 基本財産の増減はない。
3. 担保に供している資産はない。
4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	158,958,051	66,498,423
前払金	5,316,256	2,508,300
仮払金	5,000,000	5,000,000
未収入金	885,500	723,500
合 計	170,159,807	74,730,223
前受金	98,780,500	1,406,500
仮受金	2,126,500	1,954,500
未払金	1,087,980	1,362,700
預り金	203,823	196,067
合 計	102,198,803	4,919,767
次期繰越収支差額	67,961,004	69,810,456

5. 保証債務はない。

財 産 目 録

平成15年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	321,374	
普通預金	55,676,698	
郵便振替	10,500,351	
前払金	2,000,000	
"	508,300	
仮払金	5,000,000	
未収入金	610,000	
"	113,500	
流動資産合計		74,730,223
2 固定資産		
1) 基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託		
基本財産合計	36,000,000	
2) その他の固定資産		
退職給与引当預金	7,386,010	
りそな銀行本郷支店 定期預金		
減価償却引当預金	2,500,000	
" "		
国際交流積立預金	4,500,000	
UFJ銀行本郷支店 "		
名簿刊行積立預金	10,000,000	
りそな銀行本郷支店 "		
選挙関係費積立預金	2,000,000	
UFJ銀行本郷支店 "		
事務所整備積立預金	84,000,000	
東京三菱銀行本郷支店 "		
学術奨励積立預金	30,000,000	
UFJ銀行本郷支店 "		
" "	85,500,000	
みずほ銀行本郷支店 "		
松尾賞積立預金	9,000,000	
郵便局 "		
研究開発班設置基金	26,000,000	
UFJ銀行本郷支店 "		
電話加入権	192,800	
3813-5540,5804-8410		
敷金	16,384,500	
(有)クロセピアビル		
その他の固定資産合計	277,463,310	
固定資産合計		313,463,310
資産合計		388,193,533
負債の部		
1 流動負債		
前受会費	1,396,500	
平成15年度以降分会費		
前受WFUMB	10,000	
平成15年度WFUMB購読料		
会費仮受金	1,954,500	
入会未承認新入会員入金分		
未払金	674,300	
委員会会議費		
"	688,400	
平成14年度消費税		
預り金	196,067	
平成14年度分雇用保険料ほか		
流動負債合計		4,919,767
2 固定負債		
退職給与引当金	10,628,860	
固定負債合計		10,628,860
負債合計		15,548,627
正味財産		372,644,906

平成14年度収支決算監査報告

平成14年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。

平成15年4月21日

社団法人日本超音波医学会

監事

秋本 伸梨

監事

伊東 正安

監査報告書

社団法人日本超音波医学会
理事長 跡見 裕 殿

平成15年 4 月 21日
八重洲監査法人
代表社員・関与社員
公認会計士

稲葉 憲一 

馬目公認会計士事務所
公認会計士

馬目 利昭 

私どもは、社団法人日本超音波医学会のここに掲げられている平成14年4月1日から平成15年3月31日までの平成14年度事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。

この監査に当たって、私どもは、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、上記の計算書類は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び定款に従い、社団法人日本超音波医学会の平成15年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と当監査法人又は関与社員及び私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

平成15年度事業計画(案)

(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)

平成15年度における本会の事業計画は次のとおりである。

学会誌の発行

「超音波医学」(和文誌)第30巻Supplement号、第30巻3号から6号と第31巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第30巻Summer号・Autumn号・Winter号と第31巻Spring号まで4冊、計11冊を発行し、会員に配付する。

学術集会

1.学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第76回学術集会(会長 名取 博)

平成15年5月9日～11日 於：北海道厚生年金会館他(北海道)

以降の予定

第77回学術集会・第7回AFSUMB大会(会長 伊東 紘一)

平成16年5月17日～21日(第77回学術集会) 於：栃木県総合文化センター(栃木県)

地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

a.北海道地方会学術集会

第25回 会長 菊池健次郎

平成15年10月11日 於：旭川医科大学(旭川市)

第26回 会長 北 晶 顕

平成16年1月23日 於：北海道大学医学部臨床大講堂(札幌市)

b.東北地方会学術集会

第26回 会長 伏見悦子

平成15年9月21日 於：横手セントラルホテル(横手市)

第27回 会長 小岩喜郎

平成16年3月21日 於：民陵会館(仙台市)

c.関東甲信越地方会学術集会

第15回 会長 名取道也

平成15年10月4日～5日 於：品川区立総合区民会館「きゅりあん」(東京都)

d.中部地方会学術集会

第19回 会長 後藤和夫

平成15年7月6日 於：多治見市文化会館(多治見市)

第20回 会長 山雄健次

平成16年1月18日 於：名古屋国際会議場(名古屋市)

e.関西地方会学術集会

第26回 会長 赤松信雄

平成15年8月30日 於：姫路商工会議所(姫路市)

第27回 会長 岡 博子

平成16年2月14日 於：大阪国際会議場(大阪市)

f.中国地方会学術集会

第39回 会長 宮崎康二

平成15年9月13日 於：ウェルシティ島根(島根市)

g.四国地方会学術集会

第13回 会長 福田信夫

平成15年10月4日 於：高松商工会議所(高松市)

h.九州地方会学術集会

第13回 会長 真島康雄

平成15年9月14日 於：久留米大学(久留米市)

教育セッション

平成15年5月9日～11日 於：北海道厚生年金会館(札幌市)

各種委員会等

1.企画委員会

a.理事長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、委員会独自の提言を行う。

2.機器及び安全に関する委員会

a.「超音波の安全性」についての調査、啓蒙活動を行う。

b.超音波診断機器用プローブの温度上昇に関する調査検討を行う。

c.DICOM規格に関する超音波画像の運用等について、検討する。

3.編集委員会

a.「超音波医学」(和文誌)第30巻Supplement号、第30巻3号から6号と第31巻1号から2号までの7冊、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第30巻Summer号・Autumn号・Winter号と第31巻Spring号まで4冊、計11冊を発行する。

4.用語・診断基準委員会

a.医用超音波用語集改訂

1)各領域の改定案をまとめ、医用超音波用語集改訂(案)を作製する。

2)医用超音波用語集改訂(案)を学会誌に公示する。

3)会員からの意見をもとに、医用超音波用語集を完成させ、発刊する。

b.超音波診断基準の作成

1)「超音波胎児計測の標準化と日本人の基準値」を学会誌に公示する。

2)「乳腺疾患超音波診断のためのガイドライン2002-腫瘍像形成性病変について-」(案)を完成させ、学会誌に公示し、会

- 員からの意見を聞く。
- 3) 「超音波心機能評価基準」を検討する。
 - 4) 「超音波乳児股関節所見分類基準」(案)を完成させ、学会誌に公示し、会員からの意見を聞く。
 - 5) 「泌尿器領域の超音波診断基準」(案)の検討及び審議を行う。
5. 保険委員会
 - a. 他学会及び関連学会との情報交換を行い、超音波関係の診療報酬点数の改定、新規適用の要望について検討する。
 - b. 上記で検討した要望を外保連、及び内保連へ診療報酬点数要望書を提出する。
 6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して、下記の活動を行う。
 - 1) 2003年度超音波Fellowship研修生を公募し、選考の上、研修を実施する。
 - 2) 2004年度超音波Fellowship研修生を公募し、選考する。
 - 3) 今後の検討課題について、委員会を開催し検討する。
 - b. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)・世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)関係
 - 1) 2004年に宇都宮市(5月20日～21日)にて開催される第7回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 - 2) 2006年にソウル(5月28日～6月1日)にて開催される第11回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力する。
 7. 教育委員会
 - a. 「教育セッション」の実施に関する規約・マニュアルなどを整備する。
 - b. 第77回学術集会における「教育セッション」の企画案を検討する。
 - c. 「超音波専門医研修カリキュラム」原案への意見を広く集め、検討と修正を加えた上で、これを完成する。
 8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 第13回超音波専門医認定試験を実施し、合格者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - b. 第9回超音波専門医資格更新を実施し、更新者の登録を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - c. 平成15年度超音波指導医の認定、委嘱を行った上で認定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - d. 平成15年度研修施設の指定を行い、指定証を交付し、併せて学会誌に公示する。
 - e. 第14回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、準備を進める。
 - f. 第10回超音波専門医更新に関する会告を公示する。
 - g. 平成16年度研修施設の指定に向けての審査を行う。
 - h. 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第4版)を発行する。
 - i. 専門医制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - j. 本制度の改革・整備についての審議を行う。
 - k. 卒前・卒後教育カリキュラムの在り方の検討と関係諸方面への働きかけを教育委員会と合同で検討する。
 - l. 専門医制度に関する他学会との連携を深める。
 - 併せて、超音波専門医制度のより良いあり方及び「専門医の広告」についての検討を行う。
 - m. 有限責任中間法人日本専門医認定制機構社員総会に出席する。
 9. 顕彰委員会
 - a. 第17回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - b. 第5回特別学会賞の選考を行う。
 - c. 第4回奨励賞の選考を行う。
 - d. 第3回技術賞の選考を行う。
 - e. 第2回松尾賞の選考を行う。
 10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第19回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2004年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 - d. 超音波検査士受験申請書類の審査基準を作成する。
 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第5回超音波工学フェローの認定審査を行い、適格と判定した者を理事会の議を経て認定し、希望者には認定証を交付する。
 - b. 第6回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 第1回超音波工学フェロー資格更新の公示を行い、更新者の登録を行った上で、希望者には認定証を交付する。
 12. 研究開発促進委員会
 - a. 第3回研究開発班設置申請についての審査を行い、研究開発班の設置を認可する。
 - b. 第4回研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
 - c. 第76回学術集会会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
 - d. 基礎技術研究会活動
代表：秋山いわき
幹事：飯島尋子、石蔵文信、石原 謙、伊東正安、上田光宏、梅村晋一郎、大矢晃久、金井 浩、神山直久、工藤信樹、椎名 毅、炭 親良、竹内康人、立花克郎、谷口信行、千原國宏、峰屋弘之、原田烈光、山越芳樹
第1回 / 平成15年 6月28日 於：東北大学工学部青葉キャンパス(仙台市)
超音波研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第2回 / 平成15年 9月27日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)
第1回超音波治療技術、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第3回 / 平成15年10月4日 於：品川区立総合区民会館「きゅりあん」(東京都)
第15回関東甲信越地方会学術集会共催
第4回 / 平成15年12月20日 於：筑波大学(つくば市)
日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
 - e. 超音波治療技術研究会活動
代表：山下裕一
幹事：井上 剛、梅村晋一郎、遠藤信行、岡 寿士、奥山伸男、岡井 崇、工藤信樹、黒脇敏彦、近藤 隆、椎名 毅、立花克郎、竹内康人、千原國宏、棚橋善克、森安史典、山越芳樹
第1回 / 平成15年 9月27日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)
第2回基礎技術研究会、及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
第2回 / 平成15年 3月13日 於：福岡大学医学情報センター(福岡市)
 - f. カラードプラ超音波診断装置用ファントム基礎研究会の活動を行う。

- g. 超音波薬物・遺伝子導入研究会の活動を行う。
 - h. 血管超音波研究会の活動を行う。
13. 平成16・17年度選挙管理委員会
- a. 役員評議員選任規則に従い、役員及び評議員の選挙を行う。
14. 会員資格審査関係
- a. 会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
 - 1) 入会希望者及び退会希望者の審査
 - 2) 除名該当者の審査
 - 3) 会員種別変更希望者の審査
 - 4) 休会希望者の審査
15. 学術集会関係
- a. 第7回AFSUMB大会(平成16年5月20日～21日)の諸準備を進める。
 - b. 第79回学術集会会長候補者について、役員及び評議員宛に推薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。
16. 地方会関係
- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
 - 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
 - 2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
 - 3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
 - 4) 地方会講習会に関して助言を行う。
 - b. 地方会運営委員長会議の開催
 - 1) 各地方会運営委員長会議において相互の連絡を緊密に行う。
17. 規約関係
- a. 理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。
18. インターネット関係
- a. 英語版のホームページの一層の充実を努める。
 - b. 学術集会、地方会、研究会及び各種委員会等の広報の一層の充実を図る。
 - c. 会員への情報提供のための環境整備に努める。
- . 日本医学会関係
- 1. 第71回日本医学会定例評議員会に参加する。
 - 2. 日本医学会シンポジウムに協力する。
- . 日本学術会議関係
- 1. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。
 - 2. 第19期日本学術会議会員の候補者、及び推薦人(推薦人の予備者を含む)の届け出等の手続きを行う。

平成15年度収支予算(案)

収入の部

(単位:円)

科	目	平成14年度予算	平成15年度予算	摘要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	100,000	70,500	
会費収入		159,784,000	150,640,500	
	正会員会費	(110,851,000)	(110,227,000)	@13,000 ^円 x 8,479 ^人 (8,741 ^人 x 0.97)
	準会員会費	(45,190,000)	(36,754,000)	@10,000 ^円 x 1,343 ^人 (1,370 ^人 x 0.98)
	学生会員会費	(63,000)	(59,500)	@7,000 ^円 x 3,332 ^人 (3,400 ^人 x 0.98)
	賛助会員会費	(3,680,000)	(3,600,000)	@3,500 ^円 x 17 ^人
入会金収入		1,206,000	1,079,000	@40,000 ^円 x 90 ^人 (3 ^人)
広告収入	学会誌	4,440,000	4,560,000	正@2,000 ^円 x 320 ^冊 , 準@1,500 ^円 x 290 ^冊 , 学生@1,000 ^円 x 4 ^冊
学術集会収入		71,400,000	70,000,000	4 ^冊 x @40,000 ^円 x 11 ^冊 , 5 ^冊 x @40,000 ^円 x 8 ^冊 , 8 ^冊 x @50,000 ^円 x 3 ^冊
	参加費収入	(27,300,000)	(22,400,000)	第76回(札幌)
	展示収入等	(44,100,000)	(47,600,000)	
地方会関係収入	地方会学術集会収入	34,200,000	43,970,000	
学会誌別刷収入		900,000	1,200,000	
WFUMB機関誌収入		2,100,000	1,900,000	@10,000 ^円 x 190 ^冊
専門医制度関係収入		4,680,000	5,990,000	
	認定試験	(2,160,000)	(2,520,000)	@20,000 ^円 x 70 ^人 , @20,000 ^円 x 56 ^人
	更新認定料	(1,860,000)	(2,810,000)	@10,000 ^円 x 274 ^人 , @5,000 ^円 x 14 ^人
	資料頒布料	(660,000)	(660,000)	問題集@4,500 ^円 x 80 ^冊 , 研修手帳@3,000 ^円 x 100 ^冊
検査士制度関係収入		27,550,000	35,500,000	
	認定試験	(24,450,000)	(31,750,000)	@20,000 ^円 x 1,350 ^人 , @5,000 ^円 x 950 ^人
	更新認定料	(2,900,000)	(3,650,000)	@5,000 ^円 x 730 ^人
	資料頒布料	(200,000)	(100,000)	ガイドライ@1,000 ^円 x 100 ^冊
雑収入		2,300,000	2,200,000	
受取利息収入		500,000	300,000	
特定預金取崩収入		1,000,000	9,000,000	
	選挙関係積立預金取崩収入	(0)	(2,000,000)	
	松尾賞積立預金取崩収入	(1,000,000)	(1,000,000)	
	研究開発班設置積立預金 取崩収入	(0)	(6,000,000)	
当期収入合計		310,160,000	326,410,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

支出の部

(単位：円)

科 目		平成14年度予算	平成15年度予算	摘 要
事業費	学会誌経費	60,370,000	56,770,000	英文誌発行(4回/年)に伴う翻訳料を含む @200,000 ^円 /月x 6 ^月 x 3 ^ヶ @3 ^ヶ x 122.00 ^円 / \$ x 8,741 ^円 機関誌 @96 ^円 /年x 200 ^冊 x 122.00 ^円 / \$ = 2,342,400 ^円 送付郵便代 378,000 ^円 /年 第76回 70,000,000 ^円 , 事務局旅費他 1,000,000 ^円 企画 250,000 ^円 , 機器・安全 1,700,000 ^円 保険 250,000 ^円 , 用語・診断 2,400,000 ^円 規約 50,000 ^円 , インターネット 960,000 ^円 工学フェロ- 200,000 ^円 前年度繰越金の再交付を含む 専門医認定試験問題集(700部) 試験会場(東京・京都) 超音波医学研修ガイドライン 卒後研修ガイドライン策定経費 特別学会賞, 菊池賞(論文賞), 奨励賞, 技術賞 松尾賞 基礎技術 700,000 ^円 , 超音波治療技術 300,000 ^円 新規分 4件 1,200,000 ^円
	出版費	(33,370,000)	(33,000,000)	
	発送経費	(19,100,000)	(18,670,000)	
	編集委員会費	(1,800,000)	(1,300,000)	
	英文校正費	(4,500,000)	(3,000,000)	
	査読通信費	(1,600,000)	(800,000)	
	国際交流関係費	7,210,000	7,100,000	
	フェロ-シップ 奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	
	国際交流委員会費	(300,000)	(300,000)	
	A F S U M B 分担金	(3,310,000)	(3,200,000)	
	WFUMB機関誌関係費	2,870,000	2,700,000	
	学術集会経費	72,180,000	71,000,000	
	学術集会経費	(72,120,000)	(70,970,000)	
	学術集会会議費	(60,000)	(30,000)	
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	
	委員会等関係費	3,800,000	5,810,000	
	地方会関係費	48,000,000	61,800,000	
	地方会学術集会経費	(34,200,000)	(43,970,000)	
	地方会交付金	(13,450,000)	(17,410,000)	
	運営委員長会議費	(350,000)	(420,000)	
	専門医制度関係費	4,310,000	5,970,000	
認定費	(2,780,000)	(2,490,000)		
専門医制度委員会費	(1,530,000)	(1,480,000)		
頒布資料印刷費	(0)	(2,000,000)		
検査士制度関係費	16,600,000	13,880,000		
認定費	(14,200,000)	(11,530,000)		
検査士制度委員会費	(2,250,000)	(2,250,000)		
頒布資料印刷費	(150,000)	(100,000)		
教育関係費	1,560,000	1,450,000		
教育委員会費	(810,000)	(700,000)		
生涯教育費	(750,000)	(750,000)		
顕彰関係費	7,200,000	7,000,000		
研究開発促進関係費	15,200,000	19,700,000		
研究班設置費	(12,500,000)	(16,000,000)		
研究開発促進委員会費	(1,600,000)	(1,500,000)		
研究会費	(1,100,000)	(2,200,000)		
事業費計		241,300,000	255,180,000	
管理費	人件費	36,000,000	37,200,000	
	会計顧問料	500,000	500,000	
	福利厚生費	710,000	700,000	
	法定福利費	3,800,000	4,200,000	
	職員交通費	1,490,000	1,490,000	
	事務所賃借料	8,140,000	8,140,000	
	事務用機器賃借料	630,000	730,000	
	備品費	500,000	500,000	
	文具消耗品費	700,000	800,000	
	光熱水料	750,000	700,000	
	事務OA化費	1,000,000	500,000	
	会議費	3,300,000	3,400,000	
	印刷費	1,640,000	1,490,000	
	通信費	3,750,000	3,450,000	
	公租公課	1,300,000	1,430,000	
	雑費	700,000	700,000	
	払込手数料	1,300,000	1,300,000	
選挙関係費	50,000	2,000,000		
管理費計		66,260,000	69,230,000	
特定預金支出	退職給与引当預金支出	1,100,000	1,500,000	
	選挙関係積立預金支出	1,000,000	0	
予備費		500,000	500,000	
当期支出合計		310,160,000	326,410,000	
当期収支差額				
次期繰越収支差額				

社団法人日本超音波医学会 平成14・15年度役員及び評議員

(自平成14年6月3日 至平成16年度通常総会開催日)

理事長	跡見 裕						
副理事長	菅原基晃	松崎益徳					
理事	秋山いわき	伊東統一	遠藤信行	岡井 崇	金井 浩	北畠 顕	工藤正俊
	里見元義	椎名 毅	千田彰一	竹中 克	田中幸子	棚橋善克	谷口信行
	鄭 忠和	名取 博	別府慎太郎				
監事	秋本 伸	伊東正安					

評議員	秋山隆弘	飯島尋子	飯沼一浩	井内 新	石川洋子	石田秀明	石光敏行
	伊藤秀一	伊藤 浩	伊藤嘉信	乾 和郎	入江喬介	岩瀬正嗣	上田光宏
	上松正朗	宇都宮俊徳	梅村晋一郎	浦岡佳子	遠藤登喜子	遠藤正章	大石 元
	大江 宏	大木 崇	大平悦三	大槻茂雄	大村健二	大森浩二	大柳光正
	岡 博子	岡崎敬久	小笠原康夫	小川真広	小澤優樹	小野尚文	小野良樹
	小野寺博義	尾本きよか	梶谷文彦	春日井博志	片岡慶正	片倉景義	加藤保之
	金光敬一郎	亀岡信悟	唐沢英偉	川合宏哉	川内章裕	川嶋栄司	神田良一
	木田光広	貴田岡正史	木原康樹	工藤信樹	久保光彦	熊田 卓	黒肱敏彦
	小井戸一光	神崎修一	上妻志郎	國分茂博	紺野 啓	税所宏光	斎藤明子
	斉藤雅人	斉藤裕輔	酒井輝文	坂口正剛	佐々木 明	佐々木勝己	佐藤 裕
	真田純一	汐崎 陽	下村壯治	菅原智子	鈴木彰文	須藤俊之	住野泰清
	須山正文	諏訪道博	瀬尾育式	高沢謙二	高田悦雄	高橋正一郎	高本真一
	宝田 明	竹内和男	田中伸明	田中康博	田内 潤	千葉 裕	千葉喜英
	千原國宏	辻本文雄	戸原恵二	中尾伸二	長川達哉	中島美智子	中谷 敏
	中村一彦	中村憲司	中村昌平	中村武史	中山 淑	名取道也	西村敏博
	沼田 功	野崎士郎	橋本 浩	秦 幸吉	畠 二郎	秦 利之	畑 洋一
	羽田勝征	蜂屋弘之	濱滝壽伸	林 輝美	林 亨	原 量宏	原田烈光
	万代恭嗣	東泉隆夫	菱田 仁	平井都始子	平井寛則	平田健一郎	平田真美
	平間 信	廣岡芳樹	福井 洋	福重淳一郎	福田信夫	藤田直孝	藤本真一
	堀口祐爾	本田伸行	幕内雅敏	真口宏介	真島康雄	舛形 尚	増澤信義
	益澤 学	増山 理	町山 晃	松田康雄	松谷正一	松村 誠	松元 淳
	松本廣嗣	三神大世	水重克文	三谷正信	皆越真一	嶺 喜隆	三原謙郎
	宮武邦夫	村田和也	望月 剛	森 秀明	森田久樹	森安史典	八木晋一
	安田是和	柳原敏宏	山雄健次	山口 徹	山越芳樹	山下裕一	山田博康
	山中桓夫	山根隆明	山本克之	尹 聖哲	横沢 保	吉川純一	吉川義博
	吉田 寛	米倉修二	林 英幸	渡辺五朗	渡邊精四郎		

(資料6)

除名者

(平成15年3月31日現在該当者)

362名

内訳 正会員 295名(うち在外会員2名)

準会員 66名

学生会員 1名

賛助会員 0社

(資料7)

功 勞 会 員 推 薦

本学会功勞会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. ヒライ ヒロノリ
平井寛則氏
2. フクイ ヒロシ
福井洋氏

第5回特別学会賞

福田 守道(北海道労働保健管理協会)

竹原靖明(新横浜病院)

第2回松尾賞

田中 幸子(大阪府立成人病センター)

谷口信行(自治医科大学)

第3回技術賞

1.5ハーモニックイメージング

嶺 喜隆

電子ラジアル型超音波プローブの開発及び付随のTissue harmonic imaging software

泉美喜雄

超音波組織弾性イメージング装置

三竹 毅

第17回菊池賞(論文賞)

基礎領域

Arterial Blood Flow Occlusion by High Intensity Focused Ultrasound and Histological Evaluation of Its Effect on Arteries and Surrounding Tissues29(Autumn)
Rei FUJIWARA Kazuaki SASAKI Tetsuya ISHIKAWA Makoto SUZUKI Shin-ichiro UMEMURA Miki KUSHIMA Takashi OKAI

循環器領域

左心室内の血流うっ滞の評価：経食道コントラストエコー法による検討29(4)
岩田亜紀子 高沢謙二 田中信大 吉田マリ子 田村 忍 武井康悦 山科 章

腹部領域

体外式超音波による急性腸炎における腸管径計測の有用性29(2)
西田 睦 木村もと子 澤口智美 沼畑幾久子 石綿澄子 今井希一

Qualitative and Quantitative Analysis of Portal Doppler Waveform and a Novel Factor of Portal Pulsatility: Systolic Spike Wave29(Autumn)
Hiroyuki SUGIMOTO Tetsuya KANEKO Tsuyoshi HATSUNO Shin TAKEDA Soichiro INOUE Akimasa NAKAO

【顕彰委員会】

委員長

菅原基晃

副委員長

里見元義

委員

(基礎) 秋山いわき 椎名 毅
(消化器) 秋本 伸 斉藤明子 渡辺五朗
(循環器) 高沢謙二 竹中 克 吉田 清
(産婦人科) 上妻志郎
(泌尿器) 斉藤雅人 中村 昌平
(総合) 小西 豊 谷口 信行

以上15名